

# 2010年3月期第2四半期決算の概要

東レ株式会社

## I. 2010年3月期第2四半期決算の概要

2010年3月期第2四半期連結決算概要	(P3)
営業外収支	(P4)
特別損益	(P5)
資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー	(P6)
設備投資額・減価償却費・研究開発費	(P7)
事業セグメント別売上高・営業利益	(P8)
事業セグメント別業績	(P9-16)
主要子会社収益状況(第2四半期累計期間)	(P17)
営業利益増減要因分析(第2四半期累計期間)	(P18)
トータルコスト競争力(TC)プロジェクト進捗状況	(P19)
事業セグメント別営業利益 1Qvs2Q比較	(P20)
事業セグメント別2Q営業利益 1Q時見通しvs実績比較	(P21)
売上高・営業損益の四半期推移	(P22)

## II. 2010年3月期連結業績見通し

2010年3月期連結業績見通し	(P24)
事業セグメント別業績見通し	(P25)
事業セグメント別営業利益 上期vs下期比較	(P26)
設備投資額・減価償却費・研究開発費見通し	(P27)

# I . 2010年3月期第2四半期決算の概要

# 2010年3月期第2四半期連結決算概要



Innovation by Chemistry

単位: 億円

	09年3月期 第2四半期 (7~9月)	10年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	10年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
売上高	4,135	3,393	- 742 (-17.9%)	8,009	6,179	-1,829 (-22.8%)
売上原価	3,370	2,803	- 566 (-16.8%)	6,519	5,116	-1,403 (-21.5%)
売上総利益	765	589	- 175 (-22.9%)	1,489	1,063	-426 (-28.6%)
(売上高総利益率)	18.5%	17.4%	-1.1 ポイント	18.6%	17.2%	-1.4 ポイント
販売費及び 一般管理費	594	511	-83 (-14.0%)	1,186	1,008	-178 (-15.0%)
(売上高販管費比率)	14.4%	15.0%	+0.7 ポイント	14.8%	16.3%	+1.5 ポイント
営業利益	171	79	-92 (-53.9%)	303	55	-248 (-81.9%)
(売上高営業利益率)	4.1%	2.3%	-1.8 ポイント	3.8%	0.9%	-2.9 ポイント
営業外収支	▲ 20	▲ 30	-9	▲ 28	▲ 82	-54
経常損益	150	49	-101 (-67.3%)	275	▲ 27	-302 (-)
特別損益	▲ 16	▲ 24	-8	▲ 48	▲ 50	-2
税前提損益	135	25	-109 (-81.1%)	227	▲ 77	-304 (-)
四半期純損益	61	11	-50 (-81.8%)	105	▲ 63	-169 (-)

	(09/3 2Q)	→	(10/3 2Q)	(09/3 2Q累計)	→	(10/3 2Q累計)		
為替レート <円/US\$>	期中平均	:	107.7	→	93.7	106.1	→	95.5
	期末	:	103.6	→	90.2			
<円/ユーロ>	期中平均	:	161.9	→	133.7	162.7	→	133.2
	期末	:	149.1	→	131.7			
原油価格 <US\$/バレル>	(DUBAI FOB) 期中平均	:	113.4	→	67.9	115.1	→	63.5

(注)3月期決算会社は7~9月の業績、12月期決算会社は4~6月の業績を連結

# 営業外収支

**TORAY**

Innovation by Chemistry

億円

	09年3月期 第2四半期 (7~9月)	10年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	10年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
営業外収益	39	25	-15	86	36	-50
受取利息及び配当金	5	3	-3	20	13	-8
持分法による投資利益	21	9	-12	38	2	-36
雑収入	13	13	+0	28	21	-6
営業外費用	▲ 60	▲ 54	+5	▲ 114	▲ 118	-4
支払利息	▲ 29	▲ 25	+4	▲ 55	▲ 49	+6
休止設備関連費用	-	▲ 18	-18	-	▲ 24	-24
雑損失	▲ 31	▲ 12	+19	▲ 58	▲ 44	+14
営業外収支	▲ 20	▲ 30	-9	▲ 28	▲ 82	-54
金融収支	▲ 24	▲ 22	+2	▲ 35	▲ 37	-1

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

# 特別損益



Innovation by Chemistry

億円

	09年3月期 第2四半期 (7~9月)	10年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	10年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
特別利益	1	1	+1	22	2	-20
有形固定資産売却益	1	1	+0	5	2	-4
投資有価証券売却益	0	0	+0	17	0	-16
特別損失	▲ 17	▲ 25	-8	▲ 69	▲ 52	+17
有形固定資産処分損	▲ 8	▲ 11	-2	▲ 18	▲ 16	+1
減損損失	-	▲ 8	-8	-	▲ 8	-8
投資有価証券評価損	▲ 6	▲ 1	+5	▲ 6	▲ 21	-15
関係会社事業損失	-	-	-	▲ 28	▲ 0	+28
たな卸資産評価損	-	-	-	▲ 12	-	+12
その他	▲ 2	▲ 6	-4	▲ 6	▲ 7	-1
ネット特別損益	▲ 16	▲ 24	-8	▲ 48	▲ 50	-2

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

# 資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー

**TORAY**

Innovation by Chemistry

	09年3月末	09年9月末	増減	億円
資産合計	15,236	15,411	+175	
流動資産	6,559	6,572	+13	
有形固定資産	5,963	5,953	-9	
無形固定資産	105	104	-1	
投資その他	2,609	2,782	+172	

	09年3月末	09年9月末	増減
負債合計	10,110	10,157	+47
流動負債	4,608	4,667	+59
固定負債	5,502	5,491	-12
純資産合計	5,126	5,254	+128

有利子負債残高	6,639	6,814	+175
---------	-------	-------	------

D/Eレシオ	1.42	1.42	+0.01
--------	------	------	-------

＜フリー・キャッシュ・フローの状況＞ 億円

	09年3月期 第2四半期累計 (4～9月)	10年3月期 第2四半期累計 (4～9月)	増減
営業活動	19	272	+253
投資活動	▲604	▲352	+252
フリー・キャッシュ・フロー	▲585	▲80	+504

# 設備投資額・減価償却費・研究開発費

**TORAY**

Innovation by Chemistry

億円

	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	10年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	特記事項
設備投資額	432	249	-183	東レ:120、国内:27、海外:102
減価償却費 ー)	413	368	-45	東レ:184、国内:50、海外:133
振替・除却等	▲ 165	109	+273	
有形固定資産増減	▲ 145	▲ 9		

主な設備投資：

<国内>東レ

:炭素繊維設備

<海外>TFE(Toray Films Europe)

:PPフィルム設備

## 研究開発費

億円

	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	10年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
東レ単体	205	183	- 22
連結子会社	51	46	-5
連結ベース	256	229	- 27

# 事業セグメント別売上高・営業利益

**TORAY**

Innovation by Chemistry

単位：億円

	売上高			営業利益		
	09年3月期 第2四半期 (7~9月)	10年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	09年3月期 第2四半期 (7~9月)	10年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減
繊維	1,556	1,330	-226 (-14.5%)	31	13	-18 (-59.2%)
プラスチック・ケミカル	1,126	830	-296 (-26.3%)	47	20	-26 (-56.7%)
情報通信材料・機器	688	571	-117 (-17.1%)	60	38	-22 (-36.3%)
炭素繊維複合材料	184	110	-74 (-40.1%)	23	▲ 10	-32 (-)
環境・エンジニアリング	417	396	-21 (-5.1%)	10	14	+4 (+41.1%)
ライフサイエンスその他	162	155	-7 (-4.4%)	6	3	-3 (-48.1%)
(内医薬・医療材)	117	119	+2 (+1.7%)	▲ 1	3	+3 (-)
計	4,135	3,393	-742 (-17.9%)	177	78	-98 (-55.6%)
消去又は全社				▲ 6	0	+6
連結	4,135	3,393	-742 (-17.9%)	171	79	-92 (-53.9%)

	売上高			営業利益		
	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	10年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	10年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
繊維	3,005	2,451	-554 (-18.4%)	62	2	-60 (-96.6%)
プラスチック・ケミカル	2,194	1,537	-657 (-29.9%)	82	11	-71 (-86.3%)
情報通信材料・機器	1,312	1,073	-239 (-18.2%)	96	53	-43 (-44.7%)
炭素繊維複合材料	381	210	-171 (-45.0%)	56	▲ 18	-73 (-)
環境・エンジニアリング	804	618	-186 (-23.1%)	2	▲ 1	-3 (-)
ライフサイエンスその他	313	290	-22 (-7.1%)	8	0	-7 (-94.6%)
(内医薬・医療材)	221	223	+2 (+1.0%)	▲ 7	▲ 1	+6 (-)
計	8,009	6,179	-1,829 (-22.8%)	306	48	-258 (-84.3%)
消去又は全社				▲ 3	7	+10
連結	8,009	6,179	-1,829 (-22.8%)	303	55	-248 (-81.9%)

# 事業セグメント別業績(繊維)



Innovation by Chemistry

単位: 億円

		2Q(7~9月)			2Q累計(4~9月)		
		09年 3月期	10年 3月期	増減	09年 3月期	10年 3月期	増減
売上高	東レ	281	224	-57 (-20.4%)	564	431	-133 (-23.6%)
	国内	735	698	-37 (-5.1%)	1,416	1,274	-142 (-10.0%)
	海外	540	409	-131 (-24.3%)	1,025	746	-279 (-27.2%)
	計	1,556	1,330	-226 (-14.5%)	3,005	2,451	-554 (-18.4%)
営業利益	東レ	▲ 2	▲ 21	-19 (-)	0	▲ 40	-40 (-)
	国内	19	18	-1 (-5.3%)	40	25	-15 (-38.0%)
	海外	16	17	+1 (+9.1%)	25	16	-9 (-36.0%)
	修正	▲ 2	▲ 2	+0	▲ 3	2	+4
	計	31	13	-18 (-59.2%)	62	2	-60 (-96.6%)

<主要関係会社>

国内: 東レインターナショナル、  
一村産業、蝶理 他

アジア: PENFABRIC  
(マレーシア)、  
LUCKYTEX(タイ)、  
ITS(インドネシア)、  
TFNL(中国) 他

欧米: ALCANTARA  
(イタリア) 他

2Q(7~9月)

減収減益

営業損益は第1四半期の赤字から第2四半期には黒字転換

**東レ** : 衣料用途は一部縫製品を除き総じて荷動きが鈍く、産業用途も自動車用途を中心に回復基調にあるものの前年同期比では厳しい需要環境が継続。

**国内子会社** : 第1四半期から第2四半期にかけて、一部商事子会社が好調に推移。

**海外子会社** : 韓国のポリエステル長繊維事業、中国の不織布事業、ポリエステル長繊維織物事業、大手SPA向け縫製品事業が堅調に推移。タイ及びチェコのアバッグ用原糸・織物事業が回復傾向。

2Q累計  
(4~9月)

減収減益

国内では、衣料用途は一部縫製品を除き衣料品需要の不振を背景に引き続き荷動きが鈍く、産業用途の需要も低調。ただし、第1四半期から第2四半期にかけて自動車用途を中心に出荷が回復。海外では、韓国のポリエステル長繊維事業や中国の不織布事業が数量を拡大したことに加え、タイやチェコのアバッグ用原糸・織物事業など他の事業でも回復傾向。

# 事業セグメント別業績(プラスチック・ケミカル)

**TORAY**

Innovation by Chemistry

単位: 億円

		2Q(7~9月)			2Q累計(4~9月)		
		09年 3月期	10年 3月期	増減	09年 3月期	10年 3月期	増減
売上高	東レ	230	158	-72 (-31.5%)	461	300	-160 (-34.8%)
	国内	411	323	-88 (-21.5%)	811	622	-189 (-23.3%)
	海外	485	349	-136 (-28.0%)	922	615	-307 (-33.3%)
	計	1,126	830	-296 (-26.3%)	2,194	1,537	-657 (-29.9%)
営業利益	東レ	▲ 1	▲ 5	-5 (-)	▲ 5	▲ 34	-29 (-)
	国内	30	13	-17 (-55.9%)	59	23	-36 (-61.7%)
	海外	18	11	-7 (-37.5%)	25	22	-3 (-13.7%)
	修正	▲ 1	1	+2	3	1	-2
	計	47	20	-26 (-56.7%)	82	11	-71 (-86.3%)

<主要関係会社>

国内: 東レフィルム加工、東レ・ファインケミカル、曾田香料、蝶理 他  
海外: TPA(アメリカ)、TPM(マレーシア)、TPEu(フランス)、TSI(韓国) 他

2Q(7~9月)

**減収減益** 営業損益は第1四半期の赤字から第2四半期には黒字転換

**東レ** : 前年同期比では、依然厳しい需要環境が継続も、自動車用途、電機・電子用途で需要は回復傾向。

**国内子会社** : 前年同期比では、依然厳しい需要環境が継続も、ファインケミカル子会社や商事子会社等、需要は回復傾向。

**海外子会社** : 総じて厳しい需要環境が継続も、マレーシアの樹脂子会社は中国・アセアン向けABS樹脂の拡販を進め、米国フィルム子会社は高機能ガスバリアフィルムを中心に堅調に推移。

2Q累計  
(4~9月)

全体としては引き続き低水準で推移するも、国内やマレーシアの樹脂事業、ハイブリッドカー向けコンデンサー用フィルムなどで、昨年後半に大幅に落ち込んだ需要が回復傾向。

**減収減益**

# 事業セグメント別業績(情報通信材料・機器) **TORAY**

Innovation by Chemistry

単位: 億円

		2Q(7~9月)			2Q累計(4~9月)		
		09年 3月期	10年 3月期	増減	09年 3月期	10年 3月期	増減
売上高	東レ	302	245	-58 (-19.0%)	600	463	-137 (-22.8%)
	国内	200	174	-26 (-13.2%)	353	343	-10 (-2.8%)
	海外	186	153	-33 (-17.9%)	358	267	-92 (-25.6%)
	計	688	571	-117 (-17.1%)	1,312	1,073	-239 (-18.2%)
営業利益	東レ	29	20	-9 (-31.8%)	50	18	-33 (-64.6%)
	国内	18	6	-12 (-66.1%)	26	17	-9 (-33.6%)
	海外	12	13	+0 (+3.0%)	18	18	-1 (-3.5%)
	修正	1	▲0	-1	2	1	-1
	計	60	38	-22 (-36.3%)	96	53	-43 (-44.7%)

<主要関係会社>

国内: 東レエンジニアリング、東レフィルム加工 他  
 海外: TPA(アメリカ)、TPEu(フランス)、TSI(韓国)、STEMCO(韓国)他

2Q(7~9月)

**減収減益**

**東レ** : 中国や日本の消費刺激策等の効果もあり、FPD関連フィルムなどの需要が回復。

**国内子会社** : IT関連機器子会社の液晶カラーフィルター製造装置の売上が減少するも、中国や日本の消費刺激策等の効果もあり、フィルム加工子会社のFPD関連フィルム加工品の需要が回復。

**海外子会社** : 中国の消費刺激策等の効果もありFPD関連材料の需要は回復傾向。

2Q累計  
(4~9月)

前年同期比では総じて低調に推移するも、中国や日本の消費刺激策等の効果もありFPD向け材料などで需要は回復。

**減収減益**

# 情報通信材料・機器セグメントの売上高の詳細 **TORAY** Innovation by Chemistry

## 【サブセグメント別売上高推移】

単位：億円

	09/3期第2四半期 (7~9月)		10/3期第2四半期 (7~9月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	232	34%	211	37%	-9%
電子部品・半導体・回路材料	231	34%	205	36%	-11%
記録材料	111	16%	72	13%	-35%
機器他	115	17%	83	15%	-28%
情報通信材料・機器セグメント合計	688		571		-17%

	09/3期第2四半期累計 (4~9月)		10/3期第2四半期累計 (4~9月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	457	35%	398	37%	-13%
電子部品・半導体・回路材料	460	35%	365	34%	-21%
記録材料	218	17%	138	13%	-37%
機器他	176	13%	172	16%	-2%
情報通信材料・機器セグメント合計	1,312		1,073		-18%

# 事業セグメント別業績(炭素繊維複合材料)



Innovation by Chemistry

単位: 億円

		2Q(7~9月)			2Q累計(4~9月)		
		09年 3月期	10年 3月期	増減	09年 3月期	10年 3月期	増減
売上高	東レ	148	87	-61 (-41.0%)	272	161	-111 (-40.8%)
	国内	101	57	-44 (-43.9%)	199	102	-97 (-48.6%)
	海外	160	68	-91 (-57.3%)	341	128	-212 (-62.3%)
	修正	▲ 224	▲ 102	+123 (-)	▲ 430	▲ 182	+248 (-)
	計	184	110	-74 (-40.1%)	381	210	-171 (-45.0%)
営業利益	東レ	14	▲ 16	-30 (-)	23	▲ 31	-54 (-)
	国内	0	0	-0 (-9.1%)	2	1	-1 (-56.0%)
	海外	14	▲ 5	-18 (-)	30	▲ 8	-37 (-)
	修正	▲ 5	10	+16	2	20	+19
	計	23	▲ 10	-32 (-)	56	▲ 18	-73 (-)

<主要関係会社>

国内: 東レインターナショナル  
海外: SOFICAR(フランス)、  
CFA(アメリカ)、  
TCA(アメリカ)

本セグメントでは、日米欧3拠点のグローバルオペレーションの規模が大きく、実態を正しく表すために、内部売上高の消去を外枠で記載しています。

2Q(7~9月)

## 減収減益

世界的な景気悪化の影響により需要が落ち込み、航空宇宙、スポーツ、一般産業の各用途で出荷が低迷。サプライチェーン全体での在庫調整が継続していることから、各生産拠点での生産調整を強化。

2Q累計  
(4~9月)

## 減収減益

世界的な景気悪化の影響により需要が落ち込み、航空宇宙、スポーツ、一般産業の各用途で出荷が低迷。サプライチェーン全体での在庫調整が継続していることから、各生産拠点での生産調整を強化。

# 炭素繊維複合材料セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高推移】

単位：億円

	09 / 3期第2四半期 (7～9月)		10 / 3期第2四半期 (7～9月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	68	37%	40	36%	-41%
スポーツ	31	17%	23	21%	-27%
一般産業	84	46%	48	43%	-44%
炭素繊維計	184		110		-40%

	09 / 3期第2四半期累計 (4～9月)		10 / 3期第2四半期累計 (4～9月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	156	41%	74	35%	-52%
スポーツ	66	17%	42	20%	-37%
一般産業	159	42%	93	45%	-41%
炭素繊維計	381		210		-45%

# 事業セグメント別業績(環境・エンジニアリング)



Innovation by Chemistry

単位: 億円

		2Q(7~9月)			2Q累計(4~9月)		
		09年 3月期	10年 3月期	増減	09年 3月期	10年 3月期	増減
売上高	東レ	20	18	-2 (-8.9%)	37	31	-6 (-17.1%)
	国内	391	364	-27 (-7.0%)	755	567	-188 (-24.9%)
	海外	6	14	+8 (+128.2%)	12	20	+8 (+67.8%)
	計	417	396	-21 (-5.1%)	804	618	-186 (-23.1%)
営業利益	東レ	▲ 3	▲ 7	-3 (-)	▲ 9	▲ 12	-3 (-)
	国内	14	17	+4 (+29.3%)	14	11	-4 (-24.4%)
	海外	▲ 1	▲ 2	-1 (-)	▲ 3	▲ 5	-2 (-)
	修正	1	5	+4	▲ 0	5	+6
	計	10	14	+4 (+41.1%)	2	▲ 1	-3 (-)

<主要関係会社>

国内: 東レ建設、  
東レエンジニアリング、  
東レACE、  
水道機工 他

## 2Q(7~9月) 減収増益

**東レ** : 逆浸透膜や精密ろ過膜の荷動きは堅調に推移。

**国内子会社**: 商事子会社の取り扱い高は減少も、建設子会社で大型の物件が完工したことに加え、水処理エンジニアリング子会社の業況も改善。

## 2Q累計 (4~9月)

### 減収減益

水処理膜事業は逆浸透膜等の荷動きが堅調に推移し、また水処理エンジニアリング子会社の業況が改善したが、国内子会社の建設事業やエンジニアリング事業の業況が低調に推移したことに加え、商事子会社の取り扱い高が大幅に減少。

# 事業セグメント別業績(ライフサイエンスその他)

Innovation by Chemistry

単位:億円

		2Q(7~9月)			2Q累計(4~9月)		
		09年 3月期	10年 3月期	増減	09年 3月期	10年 3月期	増減
売上高	東レ	22	25	+4 (+16.6%)	37	43	+6 (+16.0%)
	国内	137	125	-12 (-8.8%)	266	235	-31 (-11.7%)
	海外	4	6	+1 (+30.1%)	9	12	+3 (+31.6%)
	計	162	155	-7 (-4.4%)	313	290	-22 (-7.1%)
	(内医薬・医療材)	117	119	+2 (+1.7%)	221	223	+2 (+1.0%)
営業利益	東レ	▲ 10	▲ 3	+7 (-)	▲ 17	▲ 7	+10 (-)
	国内	9	3	-6 (-71.1%)	16	2	-14 (-89.9%)
	海外	0	0	-0 (-19.4%)	1	1	-0 (-11.2%)
	修正	8	4	-4	8	5	-3
	計	6	3	-3 (-48.1%)	8	0	-7 (-94.6%)
	(内医薬・医療材)	▲ 1	3	+3 (-)	▲ 7	▲ 1	+6 (-)

<主要関係会社>

国内: 東レ・メディカル、  
東レリサーチセンター、  
東レエンタープライズ他

2Q(7~9月)

**減収減益**

**医薬・医療材:** 医薬事業が堅調に推移、人工腎臓も販売量を伸ばした。

**その他:** 分析サービス子会社の受注高が減少。

2Q累計  
(4~9月)

**減収減益**

医薬医療材事業では医薬事業が堅調に推移し、人工腎臓も販売量を伸ばした。  
ライフサイエンスその他の全体では、国内商事子会社の取り扱い高や分析サービス子会社の受注高が減少。

# 主要子会社収益状況(第2四半期累計期間)

Innovation by Chemistry

億円

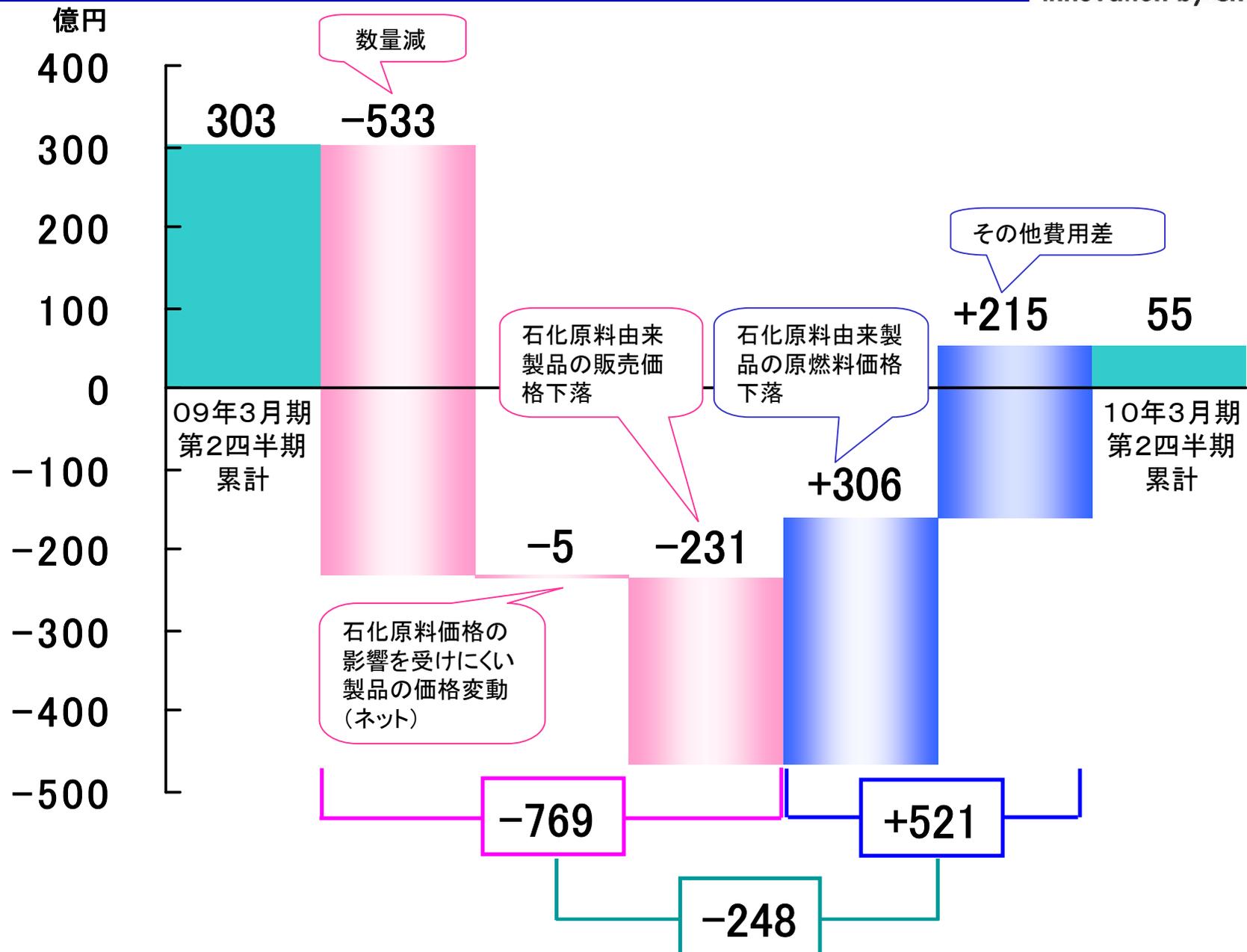
	売上高			営業利益			
	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	10年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	09年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	10年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	
東レインターナショナル	2,046	1,487	-559	30	24	-7	
東レエンジニアリング	432	398	-34	32	18	-14	
東レ建設	228	198	-30	4	3	-0	
東レフィルム加工	241	211	-30	11	8	-3	
東レ・メディカル	179	172	-7	2	0	-2	
TSI(韓国)	434	321	-113	22	28	+5	
TPM(マレーシア)	368	262	-106	3	9	+6	
在東南アジア・子会社 *1	繊維	564	357	-207	10	▲0	-10
	プラスチック・ケミカル	413	286	-127	8	10	+2
	その他	50	33	-17	0	1	+1
	計	1,027	676	-351	17	11	-7
在中国・子会社 *2	繊維	404	383	-21	▲4	3	+8
	プラスチック・ケミカル	239	159	-80	3	1	-2
	その他	66	39	-27	4	▲0	-4
	計	709	580	-129	2	4	+1
在外・フィルム子会社 *3	プラスチック・ケミカル	454	298	-156	12	11	-1
	情報通信材料・機器	196	152	-44	14	10	-4
	計	649	450	-200	26	21	-5

\* 1: ITS、ETX、ISTEM、ACTEM、CENTEX、Penfibre、PAB-G、TTS、LTX、TTTM、TPM 単純合計

\* 2: TFNL、TSD、TAK/TAZ、TJQ、TPN、TCH、TSL、THK-G、TPHK/TPSZ、RKH/RKZ、TFH/TFZ 単純合計

\* 3: TSI、Penfibre、TPA、TPEu、TFH/TFZ 単純合計

# 営業利益増減要因分析(第2四半期累計期間) **TORAY** Innovation by Chemistry



# トータルコスト競争力(TC)プロジェクト進捗状況 **TORAY**

Innovation by Chemistry

コスト削減目標額： 総額1,000億円<内訳 固定費 600億円、比例費 400億円>  
(~2011年3月期) (2009年3月期予算比、社内管理ベース)

→2010年3月期迄に内500億円のコスト削減を目指す

## <TCプロジェクト進捗状況>

単位: 億円

	09年3月期 予算→実績	09年3月期実績 →10年3月期		09年3月期予算 →10年3月期見通し ( )内進捗率*3)	TC削減目標額 09年3月期予算 →11年3月期
		2Q累計実績	通期見通し		
固定費削減*1)	200	240	300以上	500以上 (83%以上)	600
比例費削減*2) (グロス)		100	200	200 (50%)	400
合計	200	340	500以上	700以上 (70%以上)	1,000

\*1) 固定費削減は営業利益増減要因分析では、その他費用差に含まれる

\*2) 比例費削減(グロス)は、原燃料価格の市況要因や為替の変動の影響を除いた原燃料コスト削減額、生産性効率化、物流効率化等の自助努力による比例費削減総額。営業利益増減要因分析では、①石化由来製品の原燃料価格下落 ②石化原料価格の影響を受けにくい製品の価格変動(ネット)③その他費用差、に含まれる

\*3) 進捗率は、10年3月期削減見通し迄のTC削減目標額に対する進捗率

# 事業セグメント別営業利益 1Qvs2Q比較

Innovation by Chemistry

億円

事業セグメント	営業利益 10年3月期1Q→ 10年3月期2Q ( )内差異	増減益要因
繊維	▲11→13 (+23)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内子会社は、商事子会社が秋冬物の販売期に入り、出荷が増加。</li> <li>海外子会社は、中国織物子会社がシーズンインしたことに加え、中国商事子会社も大手SPA等向け縫製品の出荷が増加。エアバッグ用原糸・織物も回復傾向。</li> </ul>
プラスチック ・ケミカル	▲9→20 (+29)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車、家電等の最終製品の需要回復やサプライチェーンの在庫調整の進展に伴い、樹脂・フィルムを中心に販売量が増加。</li> </ul>
情報通信材料 ・機器	15→38 (+24)	<ul style="list-style-type: none"> <li>FPDメーカー各社の稼働率向上を受け、当社のFPD関連材料の販売量が増加。</li> </ul>
炭素繊維 複合材料	▲8→▲10 (-2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>景気後退の影響及びサプライチェーンでの在庫調整の継続により、各用途とも需要低迷。</li> </ul>
環境・エンジニアリング	▲15→14 (+28)	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設子会社及びエンジニアリング子会社が、大型物件の完工、工事の進捗により売上拡大。</li> </ul>
ライフサイエンス その他	▲3→3 (+6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>医薬・医療材事業は、人工腎臓の販売量が増加。</li> </ul>
消去または全社	6→0 (-6)	
連結	▲24→79 (+103)	

# 事業セグメント別2Q営業利益 1Q時見通しvs実績比較



Innovation by Chemistry

億円

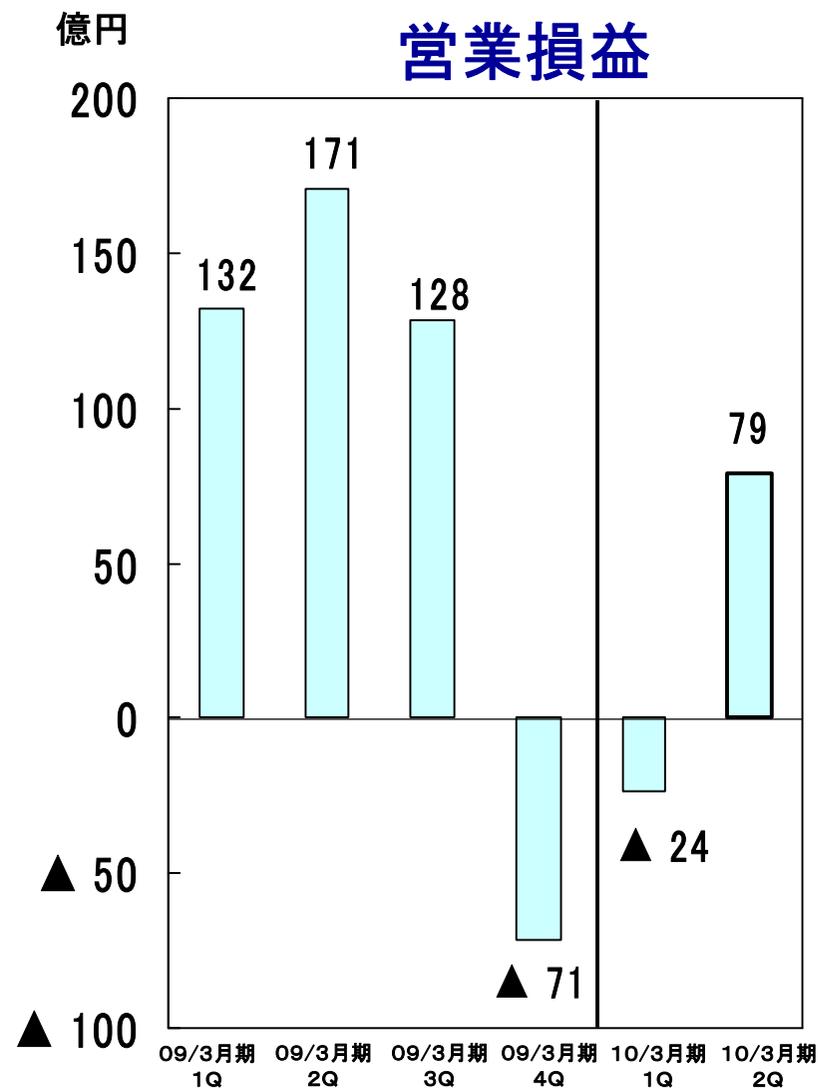
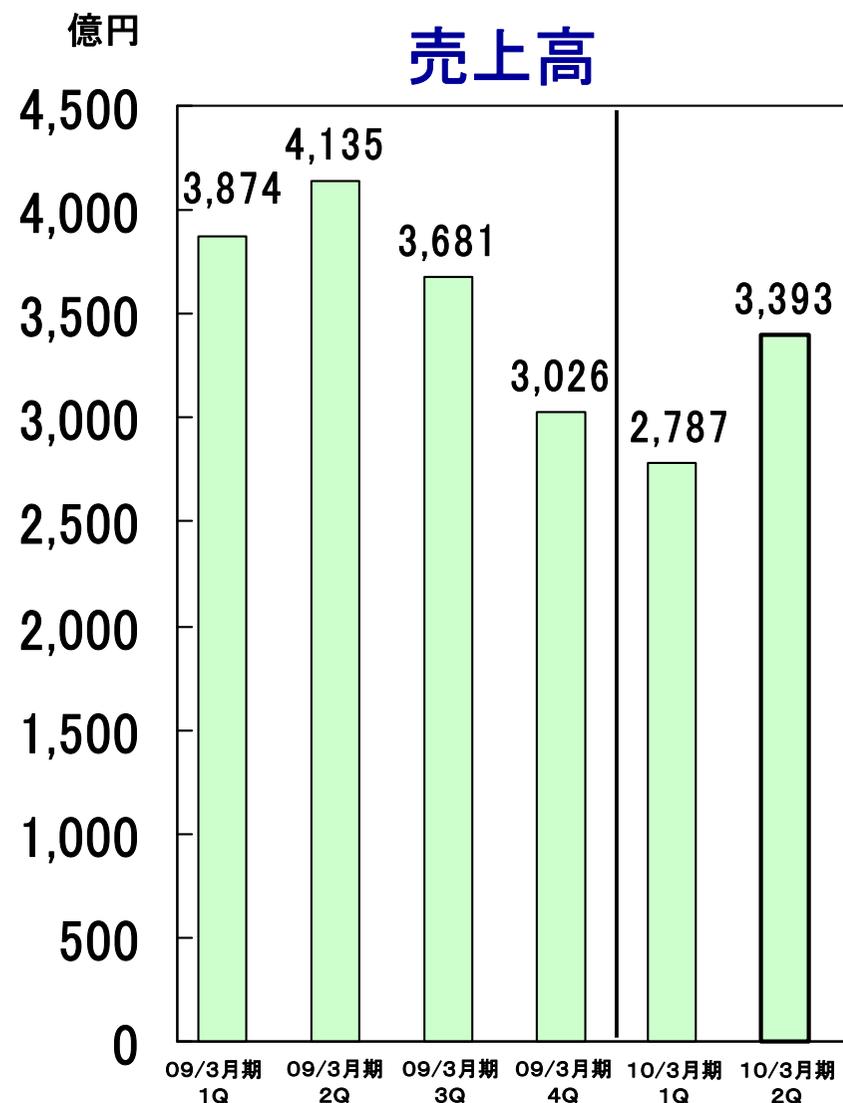
事業セグメント	2Q営業利益 1Q時見通し→実績 ( )内差異	増減益要因
繊維	▲4→13 (+17)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車用途等で在庫調整が進展、1Q時見通しに比べ市況は回復基調。</li> <li>トータルコスト削減を推進。</li> </ul>
プラスチック ・ケミカル	▲11→20 (+31)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車・家電用途等での需要回復に伴い、1Q時見通しに比べ販売量が増加。</li> <li>トータルコスト削減を推進。</li> </ul>
情報通信材料 ・機器	15→38 (+23)	<ul style="list-style-type: none"> <li>FPD関連材料の需要回復を受け、1Q時見通しに比べ販売量が増加。</li> <li>トータルコスト削減を推進。</li> </ul>
炭素繊維 複合材料	▲22→▲10 (+12)	<ul style="list-style-type: none"> <li>トータルコスト削減に加え、未実現利益の実現が1Q時の想定よりも増加。</li> </ul>
環境・エンジニアリング	▲0→14 (+14)	<ul style="list-style-type: none"> <li>トータルコスト削減を推進。</li> </ul>
ライフサイエンス その他	▲2→3 (+5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>トータルコスト削減を推進。</li> </ul>
消去または全社	▲1→0 (+2)	
連結	▲26→79 (+105)	

(注)1Q時見通しとは2010年3月期第1四半期決算発表時(8月7日)の見通しです。

# 売上高・営業損益の四半期推移



Innovation by Chemistry



## Ⅱ. 2010年3月期連結業績見通し

# 2010年3月期連結業績見通し

**TORAY**

Innovation by Chemistry

億円

	09年3月期 実績	10年3月期 期初見通し	10年3月期 今回見通し	対前年比増減	10年3月期 期初見通しと の差異
売上高	14,716	13,000	13,000	-1,716 (-11.7%)	—
営業利益	360	150	250	-110 (-30.6%)	+100
経常利益	205	50	100	-105 (-51.3%)	+50
当期純損益	▲ 163	▲ 50	0	+163 (-)	+50

1株当たり 当期純損益	▲11.7円	▲3.6円	0.0円
1株当たり 配当金	7.5円	5.0円	5.0円

備考：為替レート的前提は、90円/US\$（10月以降）  
原油価格見通しは、75US\$/B(DUBAI FOB)（10月以降）

# 事業セグメント別業績見通し(売上高/営業利益)

Innovation by Chemistry

単位: 億円

	売上高			営業利益			10年3月期 期初見通し との差異	
	09年 3月期	10年 3月期	増減	09年 3月期	10年 3月期	増減	売上高	営業利益
繊維	5,690	5,000	-690 (-12.1%)	77	50	-27 (-34.8%)	-	+20
プラスチック・ケミカル	3,776	3,100	-676 (-17.9%)	41	50	+9 (+22.8%)	+50	+20
情報通信材料・機器	2,294	2,200	-94 (-4.1%)	98	160	+62 (+62.9%)	+200	+120
炭素繊維複合材料	704	500	-204 (-29.0%)	84	▲ 80	-164 (-)	-100	-80
環境・エンジニアリング	1,602	1,600	-2 (-0.1%)	33	45	+12 (+36.2%)	-100	+15
ライフサイエンスその他	649	600	-49 (-7.6%)	32	25	-7 (-21.5%)	-50	+5
(内医薬・医療材)	475	480	+5 (+1.1%)	4	15	+11 (+326.1%)	-	+15
消去又は全社				▲ 4	0	+4		-
連結	14,716	13,000	-1,716 (-11.7%)	360	250	-110 (-30.6%)	-	+100

# 事業セグメント別営業利益 上期vs下期比較

**TORAY**

Innovation by Chemistry

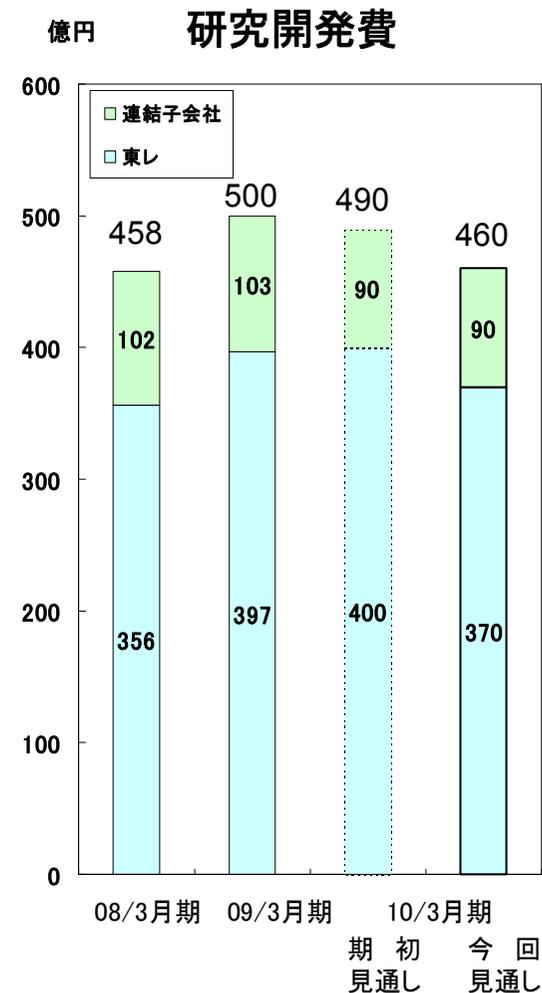
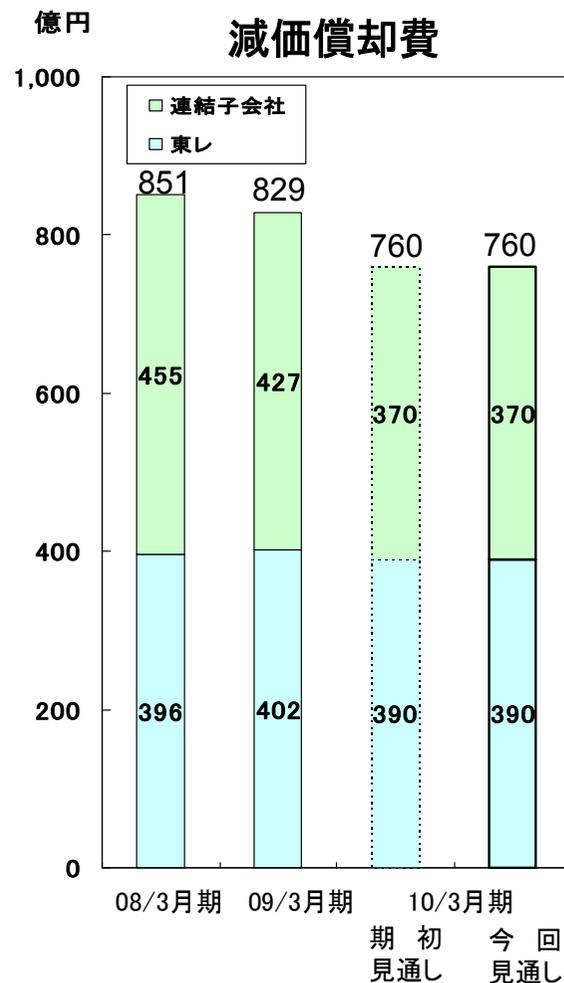
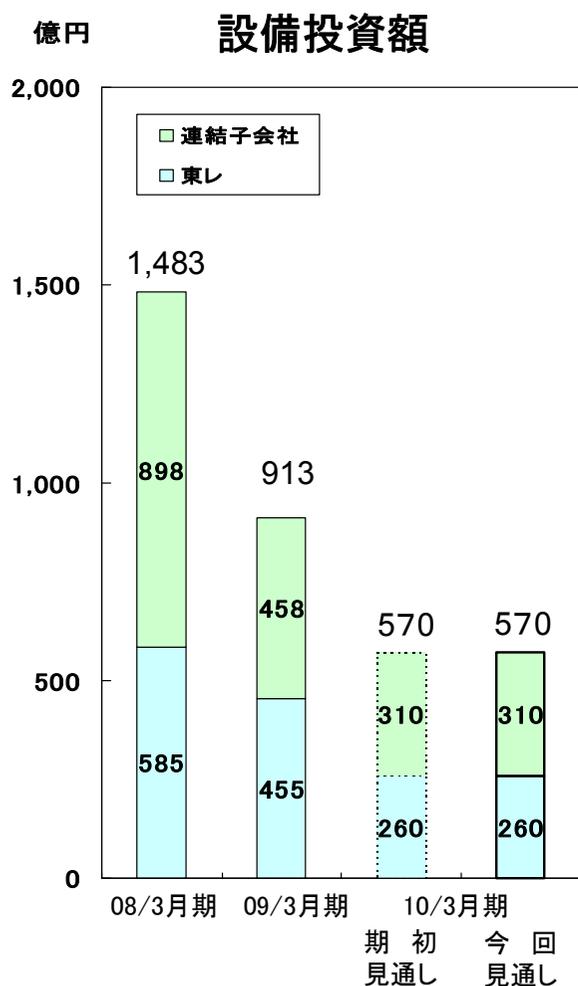
億円

事業セグメント	10年3月期営業利益 上期実績→下期見通し ( )内差異	増減益要因
繊維	2→48 (+46)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣料用途は厳しい事業環境が継続も、自動車用途の荷動きは回復基調であり、上期に進めた減産を緩和。</li> <li>・一部の国内外子会社では、大手SPA向け冬物出荷増を見込む。</li> <li>・更なるトータルコスト削減を推進。</li> </ul>
プラスチック ・ケミカル	11→39 (+28)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市況の回復を受け、荷動きは回復基調。上期に進めた減産を緩和。</li> <li>・更なるトータルコスト削減を推進。</li> </ul>
情報通信材料 ・機器	53→107 (+54)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FPD関連材料をはじめとしたIT関連材料の販売量が増加。上期に進めた減産を緩和。</li> <li>・更なるトータルコスト削減を推進。</li> </ul>
炭素繊維 複合材料	▲18→▲62 (-45)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空宇宙・一般産業用途を中心に、販売量は増加するが、円高の影響や一般産業用途の価格下落の影響等により、平均単価はダウン。</li> <li>・需要低迷の中、在庫適正化に向けた減産を更に強化。</li> <li>・更なるトータルコスト削減を推進。</li> </ul>
環境・ エンジニアリング	▲1→46 (+47)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内子会社の売上が4Qに集中する傾向がある。</li> <li>・米国水処理子会社が受注済み大型案件へのRO膜納入を予定。</li> <li>・更なるトータルコスト削減を推進。</li> </ul>
ライフサイエンス その他	0→25 (+24)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医薬・医療材の拡販。</li> <li>・更なるトータルコスト削減を推進。</li> </ul>
消去または全社	7→▲7 (-13)	
連結	55→195 (+140)	

# 設備投資額・減価償却費・研究開発費見通し



Innovation by Chemistry



本資料中の2010年3月期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。